

# 不正を隠し続ける警察に正義はあるか!?

## 新聞・テレビが報道しない日本の警察

微罪事件の犯人にさえ、「ちゃんと反省しろ!」とどなる警察官。

しかし、警察は自らが過ちを犯したとき、事実を認め謝罪しているだろうか。

裏金作りを実名で告発した直後、愛媛県警で不当な配置転換をされた現職警察官・仙波敏郎さんの国家賠償請求訴訟は、地裁、高裁ともに原告の全面勝訴判決。県警が上告を断念し確定。しかし、県警は仙波さんの警察官人生を狂わせた裏金を未だに認めない。

群馬県警は、現場の警察官がDV被害者の保護を拒否した事実を揉み消し、なんと裁判では加害夫を県警側証人に仕立てて反撃してきた。警察を信じてきた一住民の恐怖と驚愕。

2008年11月22日(土) 午後2時～5時  
場 所：鉄道弘済会館(東京都千代田区麹町5-1)  
4階会議室(梅) JR四谷駅から徒歩5分

### 内容(予定)

- 1 トーク  
「警察組織がDV被害者と敵対するとき」  
被害女性(群馬県民)×代理人弁護士
- 2 講演「愛媛県警国賠訴訟を語る」  
仙波 敏郎氏(愛媛県警警察官)
- 3 パネルディスカッション  
「不正を隠し続ける警察に正義はあるか!？」  
仙波 敏郎氏(愛媛県警警察官)  
被害女性(群馬県民)  
弁護士(群馬県警人権侵害国賠訴訟弁護団)



共催：東京市民オンブズマン+群馬県警人権侵害国賠訴訟弁護団

問い合わせ先：さくら通り法律事務所(担当：出口)

TEL 03(3353)3399 FAX 03(5363)9856